



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

1995・96年度国際ロータリー・テーマ 国際ロータリー会長 ハーバート・グラハム・ブラウン



Act with Integrity
Serve with Love
Work for peace

〈本日のプログラム〉

第 375 回 平成 7 年 8 月 11 日(金)

1. 点 鐘
2. ロータリーソング
「 奉仕の理想 」
3. 食 事
4. 会 長 の 時 間
5. 幹 事 報 告
6. 各 委 員 会 報 告
7. 会 員 増 強 に つ い て
8. 点 鐘

会 長 藤 堂 孝 一
副 会 長 斎 藤 芳 夫
幹 事 福 井 輝 文
会 計 中 武 靖 雄
会 報 委 員 長 垂 水 敏 雄

佐土原ロータリークラブ

例会日 毎週金曜日(12:30~13:30)

例会場 ホテル神宮寺 ☎0985-73-0015

事務所 ☎880-02佐土原町大字下田島7912

(株)福井工務店内☎0985-73-0291

第374回例会記録
(1995. 8. 4)

☆会長の時間

藤堂孝一君

皆さん今日は、本日は第374回例会です。先週の竹内ガバナー公式訪問に際しましては、長時間に亘り熱心にご協議をしていただき誠にありがとうございました。お陰様で無事に公式訪問を終えることができ、感謝の気持ちと安堵の思いで一杯です。

ところで、西都・高鍋・佐土原3RCの『GSE受け入れについての協議会』の結果、西都RCが5名全員をホームステイに受け入れていただくことになりました。佐土原クラブの担当については、GSEの具体的なスケジュールが決まってから、改めて3RCで協議する予定です。

今月は会員増強及び拡大月間ですが、ガバナー事務所より、2週間ごとに会員の増減を報告していただきたいとの依頼がありました。

☆幹事報告

福井輝文君

1. 例会変更通知

- *日向中央RC 8月9日19:00
日向第一ホテル
" 8月16日は休会
*都城北RC 8月15日は休会
" 8月22日7:00
都城ニューグランドホテル

*都城中央RC 8月24日6:30
神柱公園

☆出席報告

委員長 恒吉正志君

会 員 数	30名
H C 出席者数	23名
欠 席 者 数	7名
出 席 率	76.7%
メイクアップ者数	3名
修正出席率	86.7%
欠 席 者 名	中武・見玉・吉田・岩切

☆社会奉仕委員会より

委員長 伊東忠寛君

1. 国連麻薬乱用撲滅運動募金が、皆さんのご協力によりまして、16,772円集まりました。これに私の職場での募金793円を加え、さらに佐土原クラブから2,435円を支出していただきまして、合計20,000円を送金しておきましたので報告いたします。
2. 佐土原町新ひむかづくり道路愛護デーが8月6日(日)で、佐土原クラブも奉仕活動に参加することになりました。当日は午前6時に町役場裏駐車場に集合し、昨年同様に佐土原バイパスの空缶、空瓶、ごみを収集します。多数のご参加をお願い申し上げます。
3. 8月12日(土)15時から宮崎市神田橋ホテルで、社会奉仕委員長会議が開催されます。

本日のビジター
西都RC 図師鎮雄君

☆ 8月セレモニー

誕生日祝い 森田邦宏君
結婚記念日祝い 赤木達也君
" 森田邦宏君

藤堂会長より記念品を贈呈し、心から祝福申し上げます。

会員卓話

山 脇 忍 君

高温多湿な夏季を迎え、一般家庭においても食中毒が多発する恐れがある。食中毒を起こす細菌、その特性等について分かり易く説明され、食中毒の予防上留意すべき事項を教示していただいた。



拡大増強月間によせて

地区増強委員長 榊 八 束

8月は増強及び拡大月間であります。即ち、クラブの内部拡大及び新クラブ結成によるロータリーの拡大に向けて特にその推進方を強調されて居ります。ロータリーの拡大はロータリアンに課せられた永遠の命題であります。折柄、我国社会環境は大変不透明な情勢下にはありますが、地区内諸都市及び周辺地域に於てはまだまだ拡大の余地はあるものと信じて居ります。新しい地域の人々にロータリーの奉仕の理想をシェアするも私共ロータリアンにとって重要な義務ではないでしょうか。

一口メモ

■ 震災に見舞われた神戸の再建を助けている日本のロータリアンは、ちょうど1年前の1994年1月17日にロサンゼルスを襲った大地震の後に提供した惜しみない援助に対して表彰を受けました。2月には、ノースリッジ・カリフォルニア州立大学の再建された教室の献堂式が、カリフォルニアの第5260地区により、日本のロータリアンに敬意を表して行なわれました。東京・銀座RCの服部禮次郎RI理事が、パスト・ガバナー・ディック・オリン氏から、今年度の阪神大震災の救援活動のためのUS\$50,000の小切手と共に、銘板を受け取りました。オリン氏は、日本のロータリアンによって送られた義援金\$700,000の殆どは、カリフォルニア州立大学の3つのコンピューター教室の修繕に当てられたと語りました。同大学は、1994年に、3億ドル以上の被害を被りました。

多方面の人々との交流を

本州製紙の会長だった故田辺武次さんが社長時代に若い人を集めて、

「君たち、若いうち、二十代、三十代は名刺をバラまきなさい。そして四十代になったら回収を始めなさい」と言われたそうです。

みなさん、この真意がわかりますか？

若いうちにできるだけ多くの分野の人々と面識を持ちなさい。多くの人々を知り、いろいろな経験をつみなさい。そして多く学びなさい。という意味を言われたのです。

政治家の河野洋平氏は若いころ家へ帰って夕ごはんを食べていると、「いい若いモンがウチでおふくろとメシくっつるとはなにごとか」と父一郎氏に叱られたそうです。田辺氏の言葉と

同じく、若いうちは多くの人と交わりなさい、外へ出て勉強しなさいということです。

また、四十代に回収を始めなさいという意味は、二十代、三十代に得た貴重な経験を生かすときです。若い時の失敗は許されても、四十代にもなると社会的な信用を得て行動するさらに大切なときとなってくるのです。なにをやるにせよ「正しい判断」ができる能力が身につけていなければなりません。これを回収といっているのです。

ですからみなさん若いうちに、小さな輪の交流、実際だけでなく、もっと広い、多くの人々との関わり合いをもつよう努力しましょう。多くの経験が「正しい判断」のできるモトとなるのです。

*青春の辞書には失敗というごとき言葉はない

△ I・G・リットン▽